



**2007年5月23日(水)～25日(金)**  
**AM10:00～PM5:00 / 入場無料**  
 パシフィック横浜・展示ホール(横浜市西区みなとみらい1-1-1)  
 主催:(社)自動車技術会(イベントお問い合わせ 03-3262-8214)

- (株)データ・テック展示ブース：小間番号-5
- テーマ：車の挙動を高精度で測定!
- 展示機器

- ①基礎技術コーナー：SR-CAN、M12P、1軸角度センサー、3軸角度センサー、VRセンサー
- ②派生技術コーナー：セーフティレコーダシリーズ(SRVideo、SRcomm、SRPocket)

データ・テック提供 特別講演

会場：新技術・新製品コーナー  
 日時：5月23日(水) 13:00～13:30

**「安全運転志向型ドライブレコーダ」**

甲南女子大学 人間科学部 藤島 寛 先生

事故を予防するためにドライブレコーダをどう活用するか。セーフティレコーダビデオだからできる!  
 「危険運転」を叱る運行管理から「安全運転志向」の褒める、納得させる運行管理についてご講演いただきます。



SR Video

セーフティレコーダビデオ

イベント紹介

SR定期セミナー・お客様交流会開催スケジュール

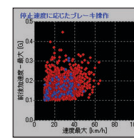
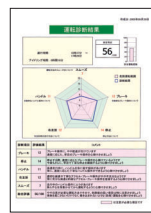
	5月	6月	7月	8月	9月
東京 (株)データ・テック 東京本社(大田区 蒲田)	5/17(木)	6/21(木)	お客様交流会 7/20(金) (大田区産業プラザ)	8/23(木)	9/20(木)
大阪 大阪厚生年金会館(大阪市 心斎橋)	5/16(水)	6/20(水)		8/29(水)	9/26(水)

※イベント日程、会場等は都合により変更する場合があります。変更になる場合は事前にご連絡いたします。  
 ※参加には、事前登録が必要です。

内容

■運転診断結果などデータの見方について

運転診断結果を主とし、参加各社のデータを基にそのデータの見方について説明いたします。参加各社には、自社データの中から、点数の良い方や指導し改善したい方など数例を選択のうえ、帳票を持参いただいています。



■セミナー風景



■SR導入活用事例紹介およびQ&A

出席者に自社の活用事例を紹介いただきながら、次のような観点から意見交換をいただきます。

1. 効果(安全・燃費)
2. SRの仕組み作り
3. 現場(営業所)での運用方法

発行:株式会社データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-12

コールセンター TEL:03-5711-7286 FAX:03-5703-7043

http://www.datatec.co.jp

ユーザー探訪

今回は

栃木県の食品輸送のパイオニア“晃陽通商さん”にお邪魔しました!

晃陽通商 株式会社殿

～ 営業部 次長 高橋 清治 様にインタビュー ～



会社概要



社名：晃陽通商株式会社  
 住所：栃木県宇都宮市徳次郎町3883-13  
 代表：代表取締役 佐藤健蔵  
 電話番号：028-665-3111  
 F A X 番号：028-665-4044  
 ●設立：昭和49年9月  
 ●車両：42台(2t、4tが主体)  
 ●SR導入：平成18年9月10台、平成19年1月27台

大手食品メーカーの配送センターを建設し、お惣菜や揚げ物、菓子類など毎日の暮らしに身近な食品輸送を中心としている晃陽通商株式会社様。このほど国交省助成金制度(EMS)を活用し、(株)データ・テックの「セーフティレコーダ(SR)」を導入。高橋清治様にSR導入により燃料費16%を越える削減という効果を発揮した、その運用方法などをお話していただきました。

SR導入で

ドライバー同士が普段の会話の中で自分の運転について話すようになった!

セーフティレコーダ(SR)を37台導入!

平成18年9月に栃木県トラック協会さんの助成金を利用し、SRPocket 10台を先行して導入しました。その後、平成19年1月20日にEMS普及事業の助成金を利用し27台を追加。合計37台となり通常稼働しているほとんどの車両にSRを装着しました。



■SR導入車両

SRの導入効果

■燃費改善16%越え!予想を上回る結果に!

2月1日から14日までの短期間のデータですが、昨年の同時期と比較すると16%を越える燃費改善。燃費の向上はもちろんですが、それ以上に安全運転への考え方が変わってきました。安全運転による事故の減少で保険料も安くなるなど長期的な効果につながります。事故件数はおそらく減っていくと思います。例えば、当社が10%下がったとすると、他社さんでもSRを導入していれば事故そのものが限りなくゼロに近づいていくと思います。ぜひ、他社さんでも導入していただければと思います。

■SRを導入して変わったこと。

一番いいと思ったのは、ドライバー同士が普段の会話の中で自分の運転について話すようになったことです。良い点数のドライバーは、ハンドルさばき、ブレーキなどの違いが話し合うことで自然とわかります。安全運転の意識が変わり、仲間意識が強くなったと感じています。

安全運転に関する意識が高くなる

効果

燃費の向上!

事故減少による  
保険料の節約!



■SRデータを取り込み解析する



■SR点数表社内貼り出し



# SRの導入きっかけ

## ■SRの導入で安全運行と燃費の向上に期待!

「SRを導入しないと安全運行や燃費の向上ができないのか?」どここの会社でも行っていますが、出発前点呼や帰社点呼、運行計画書によるドライバーミーティングなどを実施することで、ある程度は対応できると考えていました。しかし、現実はその簡単ではありません。運転するのはドライバーですから、彼らの協力が

なければ実現できないのです。その意味で、SRを導入すれば、ドライバーひとりひとりの状況がある程度わかるため、安全運転と燃費の向上が実現できると考えました。また、燃料コストが削減できればSR導入費用もカバー出来るだろうと予測し、運用をスタートしました。

# SR導入への具体的な取り組み

## ■SR導入当初は拒否反応を示すドライバーも・・・

一般にドライバーは、束縛されたくはないが自分のやったことは認めてもらいたいという意識が強いものです。当然、「管理する」という言葉を使うと、もっと大きな拒否反応が出ます。そこで、「理解してほしい」というスタンスでドライバーに接しました。たとえば「走行ルート」。運行ルートの状況をドライバーと一緒に

「そうだったのか」「なるほど」と地図を見ながら共感するために使う。点数も「もっとスピードを落とすと良いのでは」「もっと車間距離をとれば」と話し合ったりするために使うこと、それを理解してもらうことでスムーズに運用できるようになりました。

## ■点数だけでドライバーを評価はしない

SR代理店のIBCからのオススメのこともあり、ドライバー全員の名前と点数を書き込み点数表を社内に貼り出しました。点数が上がらない人は必ず言い訳をしますが、それを否定してしまうとなかなか改善しません。乗車する車両それぞれで条件が違うので、点数だけで評価はしないと社内で徹底しました。ドライバーに対しても同様で、最低点数20点から1点でも上がればというやり方をとっています。「よくしたい」気持ちがあれば、ちゃんと吸収していつかは点数が上がりますよ。

## ■ドライバーのやる気を引き出すために・・・

点数を上げるために、まずスピードをあまり出さないようになどコツを教えました。また先行してSRをつけた先輩ドライバーが交差点に入るときは20km以下にすること、さらに車間距離を十分にとることなどのポイントをつかんできました。



### 点数アップのポイント

- スピードを落とす
- 車間距離をとる
- 交差点に入るときは20km/h以下

ここに注目!

これだけで点数が上がるのですから、他のドライバーに「それならやってみようかな」という意識が広がっていきました。運行管理者もSRをつけて運転しています。

# SR導入による、今後への期待

## ■会社の発展が期待できる

ドライバーに対して説明するのに、ひとつのものさしで評価しないといけません。そうしないとドライバーのやる気をなくします。そのために会社のトップ、つまり社長がSRの導入効果を理解することが大事だと思います。それで社員全員が一丸となってよい会社をつくらうというきっかけづくりになるでしょう。

### 効果を出すための取組みのポイント

- 実際に運転し、取り組むのはドライバーなので、SRに興味をもってもらい良くしたいと思わせる。
- 会社のトップがSRを好きになり、会社をよくしたいと思うこと。

ここに注目!

## 晃陽通商株式会社 高橋 清治 様にインタビュー!

Q SRのエピソードがあればお聞かせ下さい。

A 他企業のSR先輩ドライバーさんと、当社のドライバーで点数の話題になることもあるようです。今ではそのドライバーが当社のお手本ドライバーになっています。

Q 栃木セミナーに出席していかがでしたか?

A 運転診断の5項目についてわかりにくい部分があったが、今回のセミナーに出て理解ができた。IBCさんは粘り強くフォローしてくれる、信頼しています。

# SRレポート1 栃木セミナー



■日時：2007年3月7日(水) 13:00~17:00  
 ■会場：栃木県トラック協会・会議室  
 ■主催：東北・北関東地区 SR代理店 株式会社IBC(栃木県宇都宮市) 電話番号 028-660-6981

平成19年3月7日(水) 栃木県トラック協会・会議室において、株式会社IBC殿主催のSRセミナー「導入効果発表会およびシステム展示会」が開催されました。「安全運転の向上」に欠かれない存在となりつつある「セイフティレコーダ(SR)」の導入事例紹介のご講演を中心に、経験交流、情報交換の場としてご活用いただき、また導入をご検討のお客様にはシステムに直接触れて身近に感じていただけるセミナーとなりました。本セミナーでは、(株)データ・テックの田野も講師を務め、SR開発のきっかけなどを紹介しました。

## セミナー内容

1. 開催のご挨拶 株式会社IBC 代表取締役社長 篠原 寛 様
2. ものづくりのプロから生まれた「セイフティレコーダ」  
～どうメリットを実感していただくか～ 株式会社データ・テック 代表取締役社長 田野 通保
3. 導入事例発表  
～セイフティレコーダの運用・取組みについて～ 晃陽通商株式会社 営業部 次長 高橋 清治 様
4. 分科会  
【第一分科会】SR導入済みお客様向けセミナー  
SRデータを元に質問  
【第二分科会】SR導入ご検討お客様向けシステム体験セミナー  
SR製品詳細のご説明・導入に伴う各助成金制度について

## 第一分科会 SR導入済みお客様向けセミナー

### ■運転診断結果の「スムーズ」について

スムーズな運転とは、自分の車の特性を知り、車に慣れてもらい無理な運転をしないような場合です。運転診断結果の「スムーズ」はハンドル、アクセル、ブレーキ操作のムラが大きくなっていないかを見ています。たとえば、普段運転している道ではスムーズ得点が高い場合でも1日だけ違う場所など、なれない道を運転した場合は、同じ車両でも「スムーズ」得点が落ちてしまうなどがあります。

分科会の中で同じドライバーで大型車と2t車を運転してもらおうと、大型車で高得点を出しているドライバーでも2t車を運転すると得点が出にくいというご意見や同じく、2t車の方が敏感に反応して得点がでにくいのではないのでしょうかという貴重なご意見をいただきました。まずは、①自社データを集め、傾向をみる。②ドライバー同士の話し合いにより車の特性を知っていただくことが大事です。

### 「スムーズ」度チェック

#### ブレーキ・アクセル操作

- ブレーキ・アクセルの踏み込み加減をできるだけ変えない
- 車間距離を十分にとりブレーキの踏み加減を一定にする
- アクセルペダルをバタバタ踏み込まずゆっくりと一定を保って踏み込む
- 直前の車の動きに惑わされずに操作できる車間距離が必要
- エキゾーストブレーキ(排気ブレーキ)、リターダは必要に応じて使用する

#### ハンドル操作

- 不必要なハンドル回しをしない
- ハンドル操作は滑らかに静かに回す
- こまかく左右に回さない
- 旋回中に回す角度を変更しない

# SRレポート2 北海道セミナー

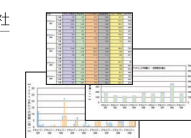


■日時：2007年3月17日(土)10:30~15:00  
 ■会場：道民活動振興センター(かでる2.7)8F特別会議室  
 ■主催：北海道地区 SR代理店(50首順) 有限会社エーアイテック(011-769-9744) ソリトン・コム株式会社(011-621-1020) 株式会社クレセール(011-791-9281)

2007年3月17日(土) 道民活動振興センター(かでる2.7)・8F特別会議室において、北海道SRセミナー「第2回北海道SRお客様交流会」が開催されました。いち早くSRを導入された共通運送(株)様のご講演を中心に、SR帳票の具体的な活用方法などを紹介。さらに活発な質疑・応答が交わされ、SRへの期待の高さを感じられるセミナーとなりました。

## セミナー内容

1. データ・テック社挨拶 株式会社データ・テック 常務取締役 菅原 悟
2. 北海道代理店各社挨拶
3. ご講演  
「SR導入活用事例紹介」 共通運送株式会社 経営管理室 部長 佐藤 政昭 様
4. 「SR出力データ活用法」 ソリトン・コム株式会社  
●SR機器説明  
●SR取得データの取扱例  
-PCへのデータ取込 ・データ解析 ・データ抽出  
-エクセルを使ったSRデータのまとめ方(例:右図)
5. SR活用の質疑・応答



## SR導入事例紹介 共通運送株式会社 経営管理室 部長 佐藤 政昭 様

### ■SR導入でめざしたもの

- ① 安全性の向上(事故の減少) ② 燃費の向上(燃料費の削減) ③ 運行管理のレベルアップ(時間管理など)

### ■SRの活用に向けた取組み

- ① 15年度(平成15年2月に導入し、15年4月から本格運用) 関連会社を含めて全車350台に導入、運用定着時期「安全性優良事業所」の認定
- ② 16年度(2年目) 全社的な「品質向上運動」と連動させ、事故減少、燃費向上に取り組む 16年11月、「エコ・ドライブコンテスト」札幌市最優秀賞、全国優秀賞受賞
- ③ 17年度(3年目) 燃費向上率の高いドライバーに対して17年夏期賞与に「報奨金」を上積み支給する「燃費向上運動」を展開
- ④ 18年度(4年目) 100点満点評価を行う「安全運転診断ソフト」を新たに導入、安全(1か月ごとの評価を累計していった点数化) 評価体系を一部変更
- ⑤ 19年度(5年目) 「安全運転診断ソフト」による運転評価を賞与に反映 SR運用の集大成として次年度以降の体制を模索

※関連会社では、保険割引率が16年の70%から17年には73%、18年には最大の75%まで向上